

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-337794

(43)Date of publication of application : 25.11.1992

(51)Int.Cl. G09G 5/00
G06F 15/20
G09G 3/00
G09G 5/30

(21)Application number : 03-110184

(71)Applicant : SOFUTEIKUSU:KK

(22)Date of filing : 15.05.1991

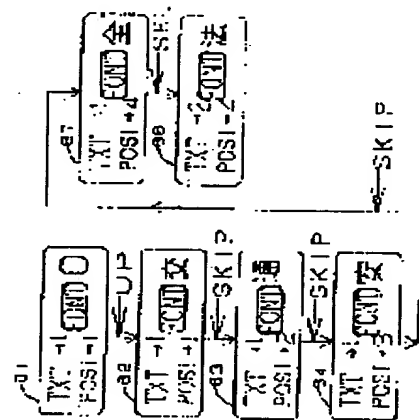
(72)Inventor : MINE HIROCHIKA
IWAMOTO HISANORI

(54) DATA INPUT DEVICE AND DATA DISPLAY DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide the data input and display device which is suitable as an on-vehicle rear display device and facilitates the input of messages and the registration of displays.

CONSTITUTION: This data input and display device registers plural character strings as combinations of plural characters/symbol fonts and generates and displays messages as combinations of the character strings. An optional character, etc., is inputted while the number of a character string to be inputted on a display screen and the input character position in the character string are displayed and specified and the number of the optional character string is inputted while a message number and a character string display order number in the message number are displayed.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-337794

(43)公開日 平成4年(1992)11月25日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 G 5/00	A	8121-5G		
G 0 6 F 15/20	5 6 2 Z	6945-5L		
G 0 9 G 3/00	Z	9176-5G		
5/30		9061-5G		

審査請求 有 請求項の数 2 (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平3-110184

(22)出願日 平成3年(1991)5月15日

(71)出願人 591114434

株式会社ソフテイクス

東京都千代田区外神田2丁目9番9号

(72)発明者 峰 裕敬

東京都千代田区外神田2丁目9番9号 株式会社ソフテイクス内

(72)発明者 岩元 久則

東京都千代田区外神田2丁目9番9号 株式会社ソフテイクス内

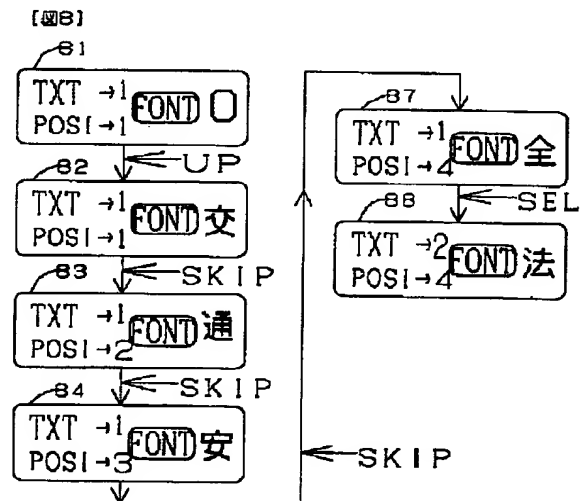
(74)代理人 弁理士 秋本 正実

(54)【発明の名称】 データ入力装置及びデータ表示装置

(57)【要約】

【目的】 車輛用の後方表示装置に好適且つ、メッセージの入力及び表示の登録を簡易にしたデータ入力及び表示装置を提供すること。

【構成】 複数の文字／記号フォントの組合せによって複数の文字列を登録し、且つ該文字列の組合せによってメッセージを作成して表示するデータ入力及び表示装置において、表示画面上に入力する文字列の番号、該文字列内での入力文字位置を表示して指定した状態で任意の文字等を入力すると共に、メッセージ番号及び該メッセージ番号内の文字列表示順番号を表示した状態で任意の文字列の番号を入力する様に構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定数の文字／記号フォントにより構成される複数の文字列を入力するデータ入力装置であって、複数の文字／記号フォントを格納するフォントメモリと、該フォントメモリ中の複数のフォントにより成る文字列を格納するテキストメモリと、前記文字列の番号と該文字列中の文字位置及びフォントを表示する表示手段と、前記各メモリ及び表示手段を制御する制御手段とを備え、該制御手段が、前記文字列の番号及び文字列中の文字位置を表示した状態で、該表示した文字列及び文字位置に入力する文字／記号フォントを選択的に表示して入力することを特徴とするデータ入力装置。

【請求項2】 所定数の文字／記号フォントにより構成される複数の文字列を選択的に順次表示するデータ表示装置であって、複数の文字／記号フォントから成る複数の文字列を格納するテキストメモリと、前記文字列の表示順番号及び該表示順番号に対応して表示する文字列の番号を表示する表示手段と、前記メモリ及び表示手段を制御する制御手段とを備え、該制御手段が、前記文字列の表示順番号を複数表示した状態で該表示順番号に対応して文字列の番号を入力し、且つ前記表示順番号に設定した順番に複数の文字列を順次表示することを特徴とするデータ表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、データ入力装置及びデータ表示装置に係り、特に文字等のデータを簡易に入力し、且つ選択的に表示可能な車両用後方表示器に好適なデータ入力装置及びデータ表示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来技術による文字等のデータを表示するデータ入力及び表示装置は、複数の漢字／記号等の入力に専用の漢字タブレット機構又はキーボードを必要とし、また複数の文字等のデータを任意の順番で表示させるためにはその設定手順が複雑であった。

【0003】 一方、自動車のリアウインドにハイマウントのランプを装着し、該ハイマウントランプを車輛制動時に点灯して後方車輛に注意を促す表示装置が知られているが、この表示装置は、制動時に赤色発光して後方車輛にブレーキングを知らしめるだけのものであった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 従来技術によるデータ入力及び表示装置は、複数の文字／記号を入力するための専用の漢字タブレット機構又はキーボードを必要とするため、装置の大型化及び複雑化を招くと共に、文字データの表示手順の設定も複雑であると言う不具合があった。また、前記車輛用の表示装置は、後方車輛にブレーキングを表す機能しかなく、使用者の任意の意思表示ができないと言う不具合があった。

【0005】 本発明の目的は前記従来技術による不具合

を除去することであり、複数の文字／記号を簡易構成の入力手段によって入力できるデータ入力装置を提供することを第1の目的とし、入力した複数文字データを任意の順番で表示させるための設定を簡易に行なうことができるデータ表示装置を提供することを第2の目的とする。また本発明は簡易構成及び簡易操作によって文字等のデータを入力し、且つ、後方車輛に運転者の任意の文字データ等を表示することができるデータ入力及び表示装置を提供することを第3の目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するために本発明によるデータ入力装置は、複数の文字／記号フォントを格納するフォントメモリと、該フォントメモリ中の複数のフォントにより成る文字列（テキスト）を格納するテキストメモリと、前記文字列の番号と該文字列中の文字位置及びフォントを表示する表示手段と、前記各メモリ及び表示手段を制御する制御手段とを設けた。

【0007】 また本発明によるデータ表示装置は、複数の文字／記号フォントから成る複数の文字列（テキスト）を格納するテキストメモリと、前記文字列の表示順番号及び該表示順番号に対応して表示する文字列の番号を表示する表示手段と、前記メモリ及び表示手段を制御する制御手段とを設けた。

【0008】

【作用】 前述の本発明によるデータ入力装置は、該制御手段が、前記文字列の番号及び文字列中の文字位置を表示した状態で、該表示した文字列及び文字位置に入力する文字／記号フォントを選択的に表示して入力することにより、複数の文字列を最小の表示機構で入力することができる。

【0009】 また本発明によるデータ表示装置は、該制御手段が、前記文字列の表示順番号を複数表示した状態で該表示順番号に対応して文字列の番号を入力し、且つ前記表示順番号に設定した順番に複数の文字列を順次表示することにより、任意の文字列を順次表示することができる。

【0010】

【実施例】 以下、本発明によるデータ入力装置及びデータ表示装置の一本実施例を図面を用いて詳細に説明する。図1は、本実施例によるデータ入力及び表示装置の全体外観を示す図、図2は図1の操作パネル4のキー配置を示す図、図3は図1の表示装置1に接続されるリモートコントロールスイッチを示す図、図4は図1に示す表示装置の回路構成を説明するための図、図5及び図6はテキスト構成及びメッセージ構成を説明するための図、図7は本実施例で使用される文字フォントの一例を示す図、図8は文字フォント等のデータから成るテキストを入力する際の表示画面を説明するための図、図9は前記テキストの組合せから成るメッセージを入力する際の表示画面を説明するための図、図10は前述の表示メ

ッセージ作成の全体動作を示すフローチャート、図11は図10におけるテキスト編集手順を示すフローチャート、図12は図10における表示属性編集手順を示すフローチャート、図13は図10におけるメッセージ編集手順を示すフローチャート、図14は表示動作中における装置動作を説明するためのフローチャートである。

【0011】<全体構成の説明>本実施例によるデータ入力及び表示装置1は、図1に示す如く、自動車のブレーキング時に赤色発光するストップランプ2と、本実施例の特徴である操作者の任意の文字図形等から成る複数のテキスト（文字列）を組合せたメッセージを表示するメッセージ表示部3と、後述する表示データの入力等を行なう操作パネル4と、この表示装置1を車輦リアウインドに支持する支持脚5と、リモートコントロールスイッチ45と接続されるコード6と、後面に配置された電源コネクタ及び車輦ブレーキング動作等に応じて外部信号が入力される外部信号コネクタ（図示せず）を備え、車輦ブレーキング時にストップランプ2が発光して後方車輦にブレーキングを表示すると共に、車輦エンジン駆動時に任意のメッセージを前記表示部3に表示する様に構成されている。尚、本実施例において使用する「テキスト」とは文字等のフォントの組合せによって構成される文字列を意味し、「メッセージ」とは任意の順番に設定される複数の「テキスト」により構成される一連の文字列の組合せを示すものとする。

【0012】さて、前記操作パネル4は図2に示す如く、選択キー21、スキップキー22、シフトキー23、アップキー24、ダウンキー25及び記憶キー26が配置され、これらキー操作によってテキストの入力他を行なうものである。これら各キーの機能については動作説明に於いて後に説明する。

【0013】また前記図1に示したコード6の端部には図3に示すリモートコントロールスイッチ45が接続され、このスイッチ45にはパネル4同様に選択キー31、スキップキー32、シフトキー33、アップキー34、ダウンキー35及び記憶キー36が配置されると共に、メッセージ表示部3に表示するメッセージを選択する選択スイッチ38及び表示中のメッセージに応じて点灯する表示識別LED37とが設けられている。

【0014】この入力及び表示装置1の動作を制御する回路構成は、図4に示す如く、後述する基本となる文字／記号等のフォントを格納するフォントメモリ42と、車輦動作に応じて表示する固定的なテキスト（例えば「STOP」、「右折します」）を格納する固定テキストメモリ43と、使用者が前記メモリ42から読み出して登録した任意のテキストを格納する静止／移動テキストメモリ44と、前記操作パネル4又はリモートコントロールスイッチ45によってテキストの登録及び表示順他を入力し、且つランプ2及び表示部3にテキスト等を出力するデータバス47と、該メモリ42等から読み出

すデータアドレスを指定するアドレスバス46とから構成されている。また前記フォントメモリ42に格納される図形文字フォントは、例えば図7に示す256種類の文字記号であり、操作者はこれら文字フォントの組合せによって任意のテキストを作成することができる。＜テキスト及びメッセージの説明＞次に本実施例によって表示するテキスト及びメッセージについて説明する。まず、本例によるテキストの種類は、次①～③の様に区別される。

【0015】①図1に示す様な4文字から構成され、任意時間中に静止的に表示される静止テキスト。このテキストは例えば、「交通安全」、「お先失礼」、「社員募集」、「ありがと」、「法定厳守」等の任意のものである。②32文字から構成されて水平方向にスクロールする任意の移動テキスト。例えば、「毎度ご乗車ありがとうございます。ご用命は03-5256-1733」等の任意の比較的長文の移動（スクロール）テキストである。③車輦のブレーキング等の動作に応じて前記①②の表示に割込んで表示する固定テキスト。例えば、車輦ブレーキング時の「STOP」、旋回時の「右折します」又は「左折します」、停止時の「パーキング中」等の静止又は移動形のテキストである。

【0016】本実施例による入力及び表示装置1は、前記①②の静止及び移動テキストを任意に組合せたメッセージを繰返して表示し、この静止及び移動テキスト表示中に車輦のブレーキング等の動作に応じて前記③のテキストを表示するものである。例えば、車輦走行時には、「交通安全」、「お先失礼」、「法定厳守」の静止テキスト及び「毎度ご乗車ありがとうございます。ご用命は03-5256-1733」の移動テキスト（これらを組合せたメッセージ）を循環的に表示し、車輦の制動／旋回時には前記メッセージに割込んで「STOP」等の固定的なテキストを割込み表示する。

【0017】また、本例による装置1は静止及び移動テキストを計8種類を登録でき、この内の4種類のテキストの組合せを1つのメッセージと呼んでいる。これらテキストとメッセージとの関係を図5及び図6を参照して説明すると、本装置は4文字構成の4つのテキスト51～54と32文字構成の4つのテキスト55～58とを用意し、テキスト51～54には4文字の文字フォント（N1～N4）を格納し、且つテキスト55～58には32文字の文字フォント（N1～N32）を格納して8つのテキストを作成し、図6に示す如くこれら各テキストの中から任意のものを任意の順番で4つのエリア65～68に格納してメッセージを構成する。前記メッセージ61～64の各エリア65～68には任意のテキストを設定することができ、本実施例では4つの異なる（テキストの）組合せのメッセージを登録することが可能である。

【0018】即ち本実施例においては、4文字又は32

5

文字からなる8つのテキスト51～58を用意し、これらテキスト51～58を任意（選択及び順番）に組合せた4種類のメッセージ61～64を設定することができる。

【0019】＜メッセージ登録動作の説明＞まず、本実施例による表示装置のメッセージ作成（表示設定も含む）手順の概略を説明する。まず操作者がメッセージの作成を開始する際は図2の選択キー21によって装置の動作モード選択がなされ、この選択によって①テキスト（文字列）の入力を行なうテキスト編集モード、②テキストの表示時間等の設定を行なう表示属性編集モード、③複数テキストを基にメッセージを設定するメッセージ編集モードの何れかが実行される。

【0020】このモード選択は、図10に示す如くCPU41（図4）がメッセージの作成が開始（ステップ100）されると、テキスト設定モードの場合（ステップ101でYESと判別）は後述するテキスト編集（ステップ102）を行ない、テキストの表示時間等の設定を行なう表示属性設定モードの場合（ステップ103でYESと判別）は後述する表示属性編集（ステップ104）を行ない、複数テキストを基にメッセージを設定するメッセージ編集の場合（ステップ105でYESと判別）はメッセージ編集（ステップ106）を行ない、これら何れの編集にも該当しない場合はメッセージ作成の終了を判別（ステップ107）することによって達成される。

【0021】前述のテキスト編集102は、図11に示す如くテキスト編集が開始（ステップ110）されて選択キー21によるモード切替がない場合（ステップ111でNOと判別）、テキスト内の入力する文字の位置を示す文字位置番号の切替有無を判断（ステップ114）して有りの場合は文字位置番号の切替（ステップ115）を行ない、変更無しの場合はフォントの選択有無をステップ116で判別して変更有りの場合はフォントを選択（ステップ117）した後にその変更内容を表示（ステップ118）する様に動作するものである。

【0022】この動作の具体的なキー操作及び表示画面を、キー配置を示す図2、回路構成を示す図4、表示画面を示す図8等を参照して説明する。この図8はテキストの入力手順を説明するための図であり、符号81～87、88は図2に示す操作パネル4のキー操作によってメッセージ表示部3に表示される画面を表している。さて、まず操作者が新規にテキストを登録する場合、操作パネル4（図4）の選択キー21を押すとデータバス47を介してCPU41にその旨が伝えられることによりCPU41が画面81を前記表示部3に表示する。この画面は、TXT（テキスト）「1」の文字の位置（POSITION：ポジション）が「1」桁目の文字フォント（FONT）が、現在「0」（図7に示す先頭フォントのゼロ）であることを示し、FONTが太枠で囲まれている

6

事により現在テキスト編集モードであることを表示している。この状態で図2のアップキー24を何度か押すことによって、順次文字フォントが1つづつ繰り上がって表示される。

【0023】本図ではテキスト1の1番目の文字フォントを入力するため、アップキー24又はダウンキー25を押すことにより、CPU41がフォントメモリ42から文字フォントを順次読み出して画面右端に表示する。この表示される文字フォントは図7の左上から右下に向かって0→1→2→3～守→速→度の様に変化する。この変化はシフトキー23とアップ/ダウンキー24又は25とを同時に押すことによってジャンプして選択することができる。図2中キー下部に「JMP UP」と表示しているのはこのシフトモードである。本例においては、画面82の様に「交」が表示されるまでアップキー24をし続け、テキスト1の1番目の文字フォントを「交」に設定する。

【0024】次にスキップキー22を押すとCPU41が文字位置（POSITION）を画面83の様に2番目文字のモードに移行し、フォントメモリ42から読み出した次の文字「通」を表示する。このスキップキー22は前記同様にシフトキー23と同時に押すことによって文字位置番号を後退することができる。この文字位置を設定後、アップ及びダウンキー24及び25によって文字フォントを選択することにより、3番目及び4番目の文字位置に「安」及び「全」を画面84及び87の様に設定してテキスト1を登録する。この場合のテキスト1の内容は「交通安全」である。

【0025】次にテキスト2以降へのモード変更は、画面88の様に選択キー21を押すことにより行なわれ、以下同様に図5に示す8つのテキスト51～58に任意の文字フォントを静止/移動テキストメモリ44にテキストとして登録する。尚、前述のテキスト登録はリモートコントロールスイッチ45の各キーを用いても行なうことができる。また選択キー21は前記同様にシフトキー23と同時に押すことによってテキスト番号を後退させることもできる。尚、シフトキー23と記憶キー26とを同時に押すと操作をキャンセル（CAN）することも可能である。

＜メッセージ登録及び表示動作の説明＞前述の8つのテキスト51～58が登録された状態でメッセージを登録（編集）する手順を図13を用いて説明する。

【0026】まずメッセージ編集を開始（ステップ130）してモード切替がなく（ステップ131でNOと判別）、且つスキップキー22による「メッセージ番号」又は「表示番号順」の項目選択の有無を判断（ステップ135）して無しの場合、アップ又はダウンキー24又は25により項目内容（表示するテキスト番号）を変更（ステップ137）した後にその変更内容を表示（ステップ138）する様に動作する。また、前記ステップ1

35でスキップキー22により「メッセージ」又は「表示番号」項目の切替を行なう場合は、ステップ136によりその変更を行なった後に、変更内容を表示（ステップ134）する様に動作する。

【0027】この動作を具体的なキー操作及び表示画面を、キー配置を示す図2及び表示画面を示す図9等を参照して説明する。まず前述の説明と同様に8つのテキストの登録を終了した画面90から説明する。このテキスト（TXT）8が終了した状態で選択キー21を押すとCPU41（図4）は、画面91の如く、メッセージ（MSG）1の配列（STRING）を設定する画面を表示部3表示する。この画面右側のN1～N4は夫々表示するテキストの番号順を示し、「＝」の右側は表示するテキストの番号を示している。例えば、画面91の例では一番目（N1）にテキスト3、二番目（N2）にテキスト1、三番目（N3）にテキスト4、四番目（N4）にテキスト5表示することを示している。尚、N1等の「N」はNo（番号）を示す意味である。

【0028】さて、このメッセージ1へのテキストの配列順の設定は、画面91に示す如くスキップキー22により前記N1にカーソルを移動させた状態で、アップキー24又はダウンキー25の操作によって右側のテキスト番号を1→2→3→～→8→1の様に巡回させることにより設定する（巡回方向はシフトキー23により反対にも移行可能である）。即ち、スキップキー22により位置付けたカーソル位置の表示番号順（N1～N4）において任意のテキスト番号をキー24又は25により表示させ、スキップキー22により他の番号順に移動することによってテキスト番号を入力する。

【0029】メッセージ1の入力が終了して次のメッセージの登録は、選択キー21を押圧することによってCPU41がメッセージ（MSG）番号を変化させるた状態で行ない、以下同様に各メッセージへ任意のテキスト番号を登録する。これにより4つのメッセージについて画面91～94の如く任意のテキストを任意の順番で設定することができる。本例の場合は、各メッセージ共、3つの静止テキスト（テキスト番号1～4）を表示した後に移動テキスト（テキスト番号5～8）を表示する様に設定したものを示している。

【0030】全メッセージの登録が終了した時点で記憶キー26を押すとCPU41は、設定内容を静止/移動テキストメモリ44に記憶する共に、登録終了のメッセージを画面95の如く表示し、更に画面96の様に登録されたメッセージのテキストを順次表示して設定内容の目視確認を促す様に動作する。

【0031】＜表示属性編集の説明＞また、本実施例による入力及び表示装置1は、前記各テキスト毎の属性、例えば表示時間を設定することも可能である。この表示属性編集は、図12に示す様に編集が開始（ステップ120）してモード切替がなく（ステップ121でNOと

判別）、且つスキップキー22による項目変更の有無を判断（ステップ122）して有りの場合、アップ又はダウンキー24又は25により項目内容を選択（ステップ124）した後にその変更した属性内容を表示（ステップ125）する様に動作する。また、前記ステップ122で項目選択がない場合はステップ123により項目番号を切替えた後に表示（ステップ126）する。前記ステップ124で項目内容を変更しない場合もステップ126によって表示属性を表示する様に動作する。

【0032】この動作の具体的なキー操作及び表示画面は、前記図9の画面97～99に表されている。即ち表示属性の編集は図9の画面97の様にメッセージ4の登録が終了した時点で選択キー21を押すことにより、画面98に切替えた状態で行なう。この画面98は各テキストの属性（Attribution）設定を行なう画面であり、この属性（「＝」の右側）が次表1の様に設定されている場合、テキスト1（T1）の表示時間が5秒、テキスト2（T2）の表示時間が200ms、テキスト3（T3）の表示時間が5秒、テキスト4（T4）の表示時間が500msであることを示している。尚、この表示時間は下記に限られるものではない。

【0033】

【表1】

【表1】属性設定表

属性番号	属性（表示時間）
1	200ms
2	500ms
3	5s
4	無限大

【0034】属性の設定方法は、スキップキー22により前記テキスト1～4にカーソルを位置させた状態でアップキー24及びダウンキー25により表1の属性番号を変更するとにより行なうことができる。尚、前記属性4「無限大」とはそのテキスト表示を無限大時間継続して表示することを意味している。

【0035】属性設定が終了した場合、選択キー21の押圧によって画面は再び画面99の如くテキスト1の表示画面に戻り、記憶キー26によりその設定内容を前記メモリ44に記憶させることにより登録が前記同様に終了する。

【0036】このように設定された4つのメッセージは、操作者が図3に示す選択スイッチ38を指定することによって任意の4テキストを順次メッセージ表示部3に表示する。また、車輻ブレーキング時には、車輻制動機構と連動した回路より外部信号48が図4に示す回路に入力されることにより、CPU41が前述の通常のメッセージに割込んでフロントメモリ42より固定テキスト「STOP」を表示部3に表示すると共に、ストップランプ2を点灯して後方車輻に注意を促すことができ

る。本回路は、車輛旋回時にも同様に外部信号48によって割込み動作により固定テキスト「右折します」又は「左折します」を表示部3に表示することができる。車輛停止時に「パーキング中」他のメッセージも表示することが出来る。

【0037】このように本実施例による入力及び表示装置は、車輛後方に任意の文字列からなる複数のテキストを連続的に表示し、且つブレーキング等のときはその動作と連動したテキストを表示することができる。

【0038】尚、前記実施例においては車輛リアウインドに設けられる表示装置に本発明を適用した例を説明したが、本発明はこれに限られることなく一般の宣伝機能を持つ表示装置に適用しても良い。また、本発明に使用される文字フォントは必要に応じて増加（JIS第1及び第2水準）しても良く、又テキストの種類も増加、例えば静止テキストを16種類、移動テキストを8種類に増加させても良い。更にフォント作成機能によりオリジナルの文字／記号／図形等を登録可能に構成しても良いものである。このフォント作成機能を実現するためには「←」及び「→」キーを設けて白紙状態の画面上でカーソルが任意の方向に移動可能であって、このカーソルが指定したドット位置を登録可能に構成することにより実現することができる。このフォント作成機能はこれに限られるものではなくワードプロセッサ等により周知な外字登録機能をCPUに追加することにより達成できる。

【0039】

【発明の効果】以上述べた様に本発明によるデータ入力装置は、前記制御手段が、前記文字列の番号及び文字列中の文字位置を表示した状態で、該表示した文字列及び文字位置に入力する文字／記号フォントを選択的に表示して入力することにより、簡単なキー構成及び操作で任意のテキストを入力することができる。

【0040】また本発明によるデータ表示装置は、該制御手段が、前記文字列の表示順番号を複数表示した状態で該表示順番号に対応して文字列の番号を入力し、且つ前記表示順番号に設定した順番に複数の文字列を順次表示することにより、任意の文字列を予め設定した順序で表示することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施例によるデータ表示装置の全体外観を示す図

【図2】図1の操作パネル4のキー配置を示す図

【図3】図1の表示装置1に接続されるリモートコントロールスイッチを示す図

【図4】図1に示す表示装置の回路構成を説明するための図

【図5】本実施例によるテキスト構成を説明するための図

【図6】本実施例によるメッセージ構成を説明するための図

【図7】本実施例で表示される文字フォントの一例を示す図

【図8】文字フォント等のデータから成るテキストを入力する際の表示画面を説明するための図

【図9】前記テキストの組合せから成るメッセージを入力する際の表示画面を説明するための図

【図10】表示メッセージ作成等の全体動作を示すフローチャート

20 【図11】図10におけるテキスト編集動作を示すフローチャート

【図12】図10における表示属性編集を示すフローチャート

【図13】図10におけるメッセージ編集を示すフローチャート

【図14】表示動作中における動作を説明するためのフローチャート

【符号の説明】

1：表示装置、2：ストップランプ、3：メッセージ表示部、4：操作パネル

5：支持脚、6：コード、21：選択キー、22：スキップキー、

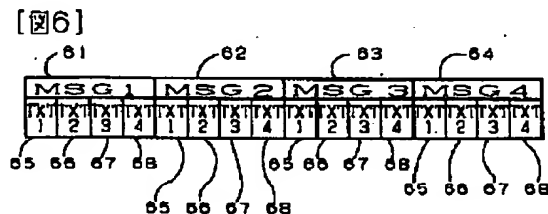
23：シフトキー、24：アップキー、25：ダウンキー、26：記憶キー、

45：リモートコントロールスイッチ、41：CPU、42：フォントメモリ、

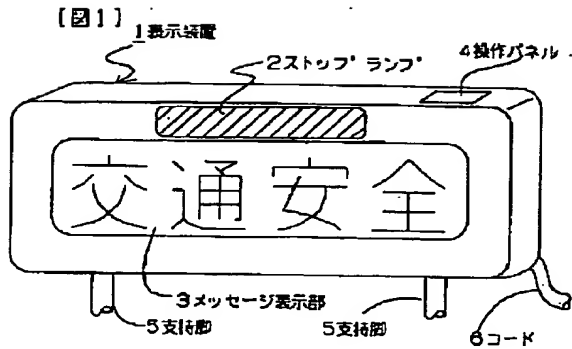
43：固定テキストメモリ、44：静止／移動テキストメモリ、

51～58：テキスト、61～64：メッセージ。

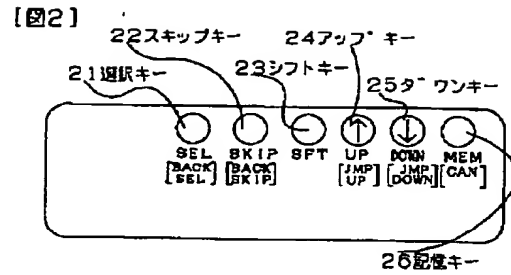
【図6】



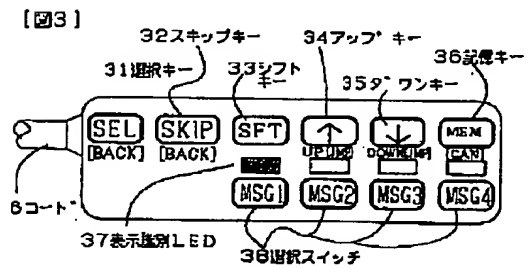
【図1】



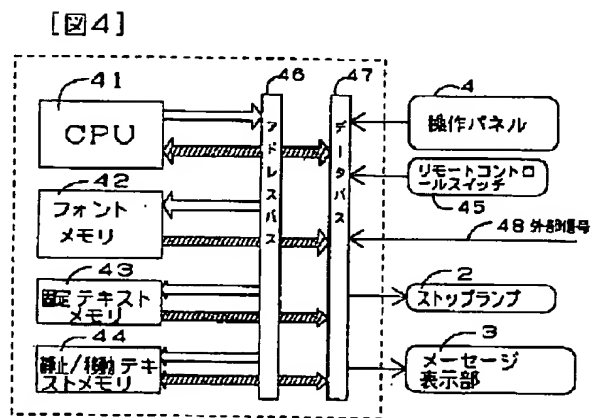
【図2】



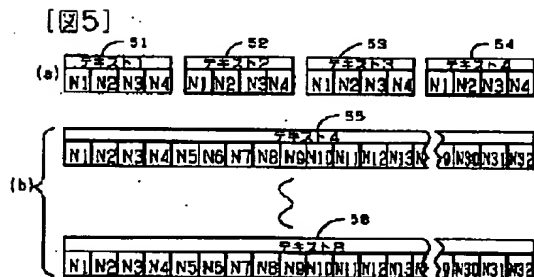
【図3】



【図4】



【図5】

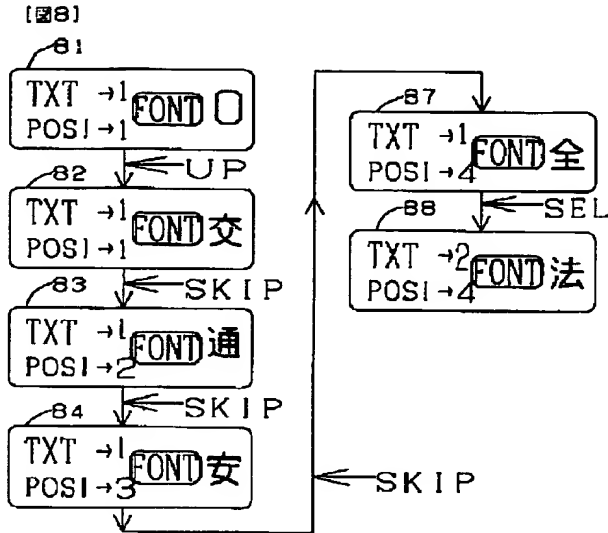


【図7】

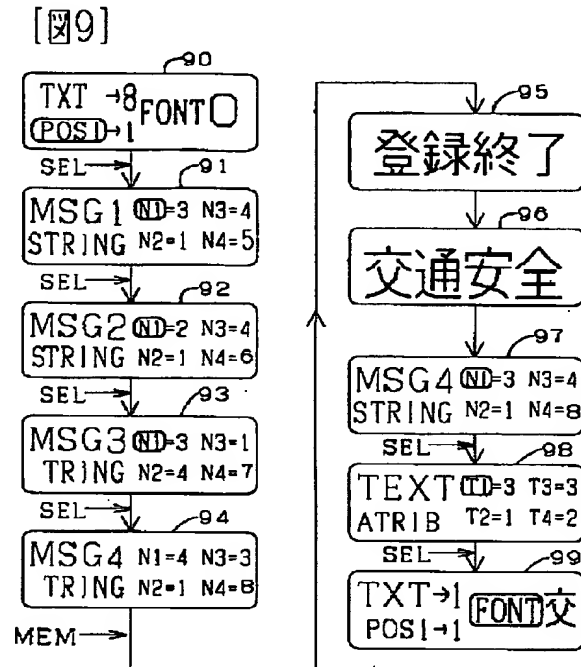
【図7】

16	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
1	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
2	W	X	Y	Z	[\	^	_	`	a	b	c	d	e	f	g
3	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w
4	x	y	z	{		}	~									
5																
6																
7																
8																
9																
A																
B																
C																
D																
E																
F																

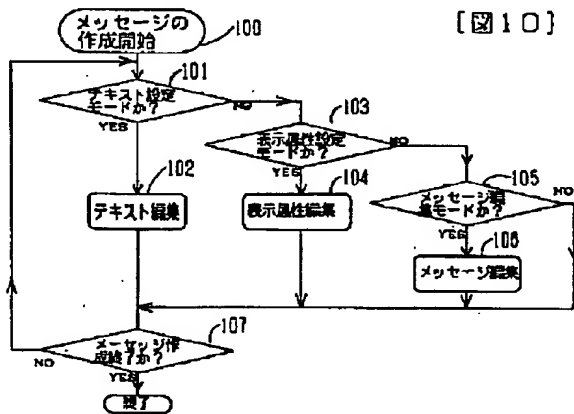
【図8】



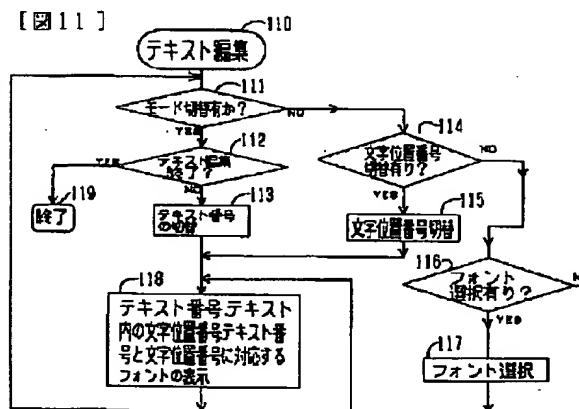
【図9】



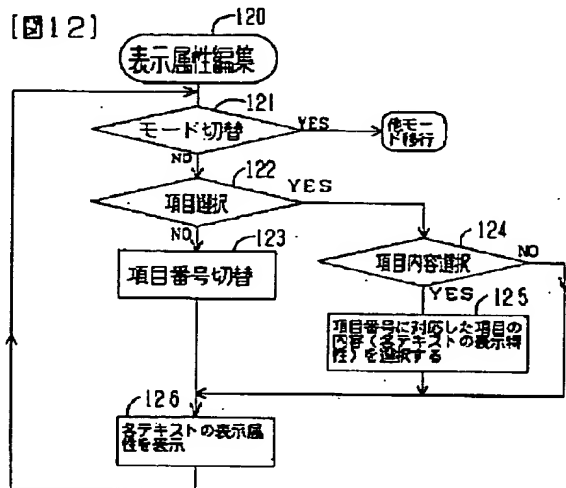
【図10】



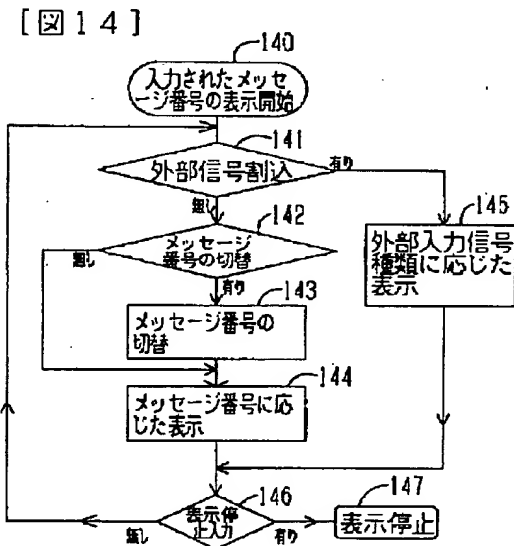
【図11】



【図12】



【図14】



【図13】

